

埼玉県平和資料館で 当協会が紹介されました。

東松山市にある、埼玉県平和資料館で2012年2月25日から5月13日までの会期で、戦後日本の国際平和貢献活動を紹介するテーマ展が開催されました。今回は、国連の専門機関であるユネスコについて、国内・県内におけるユネスコ活動、民間ユネスコ活動を多角的に紹介され、「埼玉県におけるユネスコ活動」のコーナーで当協会が紹介されました。



展示の様子
(写真提供：埼玉県平和資料館)

当協会の紹介パネル(写真提供・埼玉県平和資料館)

蓮田・白岡地方ユネスコ協会

概要
設立：平成20年
所在地：蓮田市
設立：活動の理念
世界を学び、わが町を学び、人々との出会いで「きずな」をつくりながら、世界平和への貢献、地域社会の向上と会員相互の親睦に寄与する。

主な活動
1 世界を知る『国際文化スタディ』
「地域の身近な人を通じて世界を知る」というコンセプトで、『国際文化スタディ』という講演会・シンポジウムを定期的に開催しています。次のような内容の活動が行われています。
◎蓮田・白岡在住者を中心に海外を舞台に活躍された方による講演
◎蓮田・白岡在住の外国人の海外生活の経験談
◎蓮田・白岡在住のJICA(国際協力機構)の海外青年協力隊、シニア海外ボランティア経験者によるシンポジウム

2 地域を知る『地域文化スタディ』
「わが町を知り、わが町の文化遺産を守る」、「出会いの場の提供を通じて、町づくり、きずなづくりに貢献する」というコンセプトで、『地域文化スタディ』という講演活動を継続的に開催しています。これまで取り上げられたテーマには、「わが町の歴史入門」、「地名について」、「祭りと芸術について」などがあります。

3 支援活動
世界寺子屋運動への募金活動として、書き損じハガキの募集を行っています。

4 「地方版寺子屋」の出前授業：「寺子屋出前講座」
地域の方々が「地域を知り、世界を知る」ことにより、失われつつある地域の絆づくりを目指した活動です。蓮田・白岡の学校や市民向けに講座を行っています。

きずな



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

第6回国際文化スタディ

「世界を知る」

海外ボランティア活動に参加して

2011年11月27日(土) 白岡町「はびすしらおか」

海外のボランティア活動に参加して「世界を知る」と題した企画は今回で3回目であったが、約50名の参加者が得て、成功裡に終了しました。村勝彦会長の主催者挨拶、来賓者を紹介して開始されました。3人の講師から、①それぞれ派遣された国の紹介(気候、風土、生活の様子、言語、産業等)、②ボランティアとしての活動状況やその活動分野の状況や背景)、③派遣された国と

事業報告(1)



今回はザンビア、パナマ、モルディブに派遣されたJICA青年海外協力隊員3名の方に貴重な体験をお話しいただきます。

て戴きました。今回の3ヶ国は一般的には馴染みの薄い国であったと思われませんが、講師が沢山の写真を使いながら、わかりやすく話をしてくれたので、参加者には意図が

2011年度(11月~3月)の主な活動

月	日	活動内容	会場等
11	27	第6回国際文化スタディ「世界を知る」	はびすしらおか
12	1	会報6号発行	
	8	埼玉県ユネスコ活動研究会	寄居町中央公民館
1	30	ユネスコ協会代表者会議	目黒区身障者センター
2	14	第4回文化遺産めぐり	蓮田市文化財展示館 黒浜貝塚
	26	第8回地域文化遺産スタディ「わが町を知る」 —明治期の白岡	はびすしらおか

2012年度の主な活動

月	日	曜日	活動内容	会場(予定)
4	19	木	埼玉県ユネスコ連絡協議会理事会	寄居町
	22	日	2012年度総会、第3回寺子屋講座	蓮田市図書館
6	17	日	第5回文化遺産めぐり・会員懇談会	富岡製糸場
	23	土	第63回日本ユネスコ協会連盟総会	朝日生命ビル
	下旬		会報7号発行	
9	15・16	土・日	第68回日本ユネスコ運動全国大会in高松	高松市
	下旬		第6回文化遺産めぐり	未定
10	13・14	土・日	関東ブロック・ユネスコ活動研究会in筑波	つくば市
11	1~		書きそんじハガキ回収キャンペーン開始(11月~3月)	
	25	日	設立5周年記念講演会	はびすしらおか
12	15	土	第4回寺子屋講座	蓮田市中央公民館
	下旬		会報8号発行	
1	下旬		第7回文化遺産めぐり・会員懇談会	未定
2	24	日	第9回地域文化遺産スタディ「わが町を知る」	はびすしらおか

十分に伝わったと思われる。

3人の講演に引き続き、会場参加者との質疑応答では、ザンビアにおける学校教育でのエイズ(性)教育の状況、パナマにおけるシャーガス病の治療薬の開発状況、モ



スタディの様子

ルディヴにおける女性の権利の実態などについてかわされました。終了後のアンケートで



前列左から講師の大井さん、佐藤さん、東原さん
後列左から副会長・会長

は、回答者の全員から「大いに満足」と満足したとの評価をいただきました。

た。なお、今回も地域内の学校や周辺の大学などにも案内しましたが、青年層の参加者が期待したより少ないとの課題が残りました。

第8回地域文化遺産スタディ
明治期のわが町を学ぶ
2012年2月26日(日) 白岡町「はびすしらおか」
講師 大宮開成高等学校 松崎慶喜さん



講師の松崎さん

第8回目の講座は昨年7月の「明治期の蓮田」に引き続き「明治期の白岡」を取り上げたところ、定員60名のところ、約90名が参加し、大盛況のうちには終了しました。アンケート

満席の会場風景
アンケート回答者の94%から「満足した」との回答を得ることができました。講座は、予定通り午後

2時に始まり、先ず主催者挨拶として田村会長が当協会の活動状況を説明し、直ぐに松崎講師による講座が開始されました。松崎講師より①昨年7月のスタディのおさらいとして鉄道の開通と日本鉄道②東北線開通による物量の変化③白岡駅開設までの経緯④その設置運動の背後に見える世相⑤「新設白岡駅」の背景に

熱心にメモを取る聴衆の方
近世の歴史、中世からの災害状況、文化財と史跡、河川の歴史やこれまで実施したテーマの繰り返し等の要望が出され、このスタディに対する関心の高さを伺う事ができました。

第4回文化遺産めぐり 蓮田市文化財展示館と黒浜貝塚

2012年2月14日(火)

小雨降る寒い日でしたが、蓮田市文化財展示館、黒浜貝塚でわが町の歴史を学びました。参加者は12名で、蓮田市教育委員会生涯学習部社会教育課文化財保護担当主査の田中和之さんと解説をしていただきました。から文化遺産めぐりをしました。2010年(平成22年)に開館した文化財展示館ではわが町についての歴史・民俗・

事業報告(2)

観察することが出来ました。黒浜式土器は、縄文時代前期の時期区分の基準となる標識土器となっているとの事でした。また、2006年(平成18年)に国指定の史跡とな



黒浜式土器



田中さんの説明を聞く参加者



田中和之さん

2012年度総会

理事

4月22日(日) 14:00

蓮田市図書館視聴覚ホールにおいて、2012年度総会が開催されました。会員数56名、総会出席者15名、委任状17名の計32名で会則第8条要件の3分の1の19名を満たしている事より総会は成立し、江口 保さんが議長となり議事が進められました。第1号議案から第6号議案まで活発な質疑応答が行われ、6議案とも提案通りの内容で承認されました。第3号議案では役員改選について承認され、2012年度からの役員任務は下記のごとくで、新任の長嶋さん、雲見さんを含めて10名の役員体制となります。

田村勝彦(会長)

熊倉 晃(副会長)

後藤志郎(事務局長)

宮崎 博(事務局)

江口 保

若林博子

半田雄司

長嶋佑介

雲見昌弘

監事

飯島 剛(監査)

なお、会計担当は、熊倉さん、ホームページ担当は宮崎さん、書きそんじハガキ担当は若林さん、会報編集担当は半田さんとなりました。また、第4号議案では会則改定について承認され、学生会員の会費が24000円/年から10000円/年に改定されることになりました。

書きそんじハガキ報告

2011年11月から2012年3月まで実施した、書きそんじハガキ回収キャンペーンにご協力いただきありがとうございました。回収されたハガキは267枚でした。回収ハガキを郵便局のご協力で切手と交換し、金額換算1万2825円分の切手を日本ユネスコ協会連盟に送付しました。本年度もよろしくご協力の程お願いいたします。



蓮田市文化財展示館

いたことや、発掘などの苦労話を伺うことが出来ました。限られた時間でしたが、田中さんの熱いお話でわが町の新たな魅力、そして先人たちの素晴らしい文化遺産めぐりでした。

第3回寺子屋講座

今さら聞けないインターネットって？

2012年度総会終了後、第3回寺子屋講座を開きました。今回は、当協会理事の宮崎 博さんのお話でテーマは「今更聞けない「インターネットって？」でした。『一産業技術者の宮崎さんですが、お話は分かりやすい単語をつかったのシニア向けの講座でした。内容は①インターネットの歴史と仕掛け②イ



講座の様子

会員紹介

瓜栗一美

(つりす かずみ)



3. 11の大震災・原発汚染は悲しい思いで事故処理に身内でもたてきています。

②田舎からは1957年に出、早や55年余を過ぎ、埼玉での仕事も45年余となりました。色々な職場で支援を受け、現在がります。

①珍しい姓ですが、飛騨高山市内の地名です。電話等のやり取りには難渋します。妻の大学の先生の強い願いで養子縁組したのですが、岩手県に生まれ、福島県で育ったので田舎は岩手・福島と思ひ、愛着もあります。23

向山裕規

(むかやま ゆうき)



①板橋区で生まれ、昭和61年に「武蔵野のS町」で有名になりかけている志木市に移りました。

②数年後に訪れるイタリア生活に退屈しないようDIYアドバイザー、フィナンシャルプランナーなどの資格だけは取りましたが社会貢献するまでに至っていません。③ユネスコの意義すら知らず会員となりましたが、よい刺激を受けています。

長谷川麻里子

(はせがわ まりこ)



①蓮田市出身 大学卒業後、川崎市やさいたま市、マダガスカルでの生活をを経て、3年前に戻りました。

②銀行でのO1時代やJICAボランティア、現在の特別支援学校での勤務を経験する事で、幅広い視野を持つこと、貴重な体験の数々を積んできたことが何よりの自分の財産となりました。

③現在は会員として在籍させていただくことで、精一杯ですが、同じ地域に住むものとして影ながら応援しております。

平澤 庄吾

(ひらさわ しょうご)



①埼玉県狭山市出身 狭山茶が有名で街の所々に茶畑が広がっています。

②大学卒業後から教員(数学)をしています。現在は特別支援学校に勤務しています。休日はイクメンやっています。③これからも様々な事を学ばせて戴きたいと思っています。宜しく願っています。

小杉 正孝

(こすぎ まさたか)



①東京都東池袋出身 ②昭和42年就職後、浜松市・渋谷区・仙台市・板橋区・インドネシア・アメリカ・タイ等を転々とし現在東京都板橋区赤塚在住

①出身地は東京都文京区、生まれは北朝鮮の清津、幼少から高校卒業まで静岡県富士宮市、東京で大学を卒業②就職後の最初の赴任地が名古屋、以後金沢、東京、札幌、名古屋、岡山、東京と転勤。最初の東京勤務時の昭和56年、蓮田市の現在地に家を建て住み始めました。③世界遺産に興味があり、ユネスコの会員になりました。

木村 滋

(きむら しげる)



③蓮田・白岡地方ユネスコ協会には、韓国が縁で知り合った田村会長の勧めで入会。異文化理解に興味があり、ユネスコ協会を通じて更に学びたく思います。

編集委員会より

第7号会報の編集を担当しました、宮崎です。フリーソフトの「朝刊太郎」を使っての初めての縦書きでの会報ですが、いかがでしょうか?ご意見等お寄せいただければ幸いです。編集委員:江口、金盛、長谷川、半田、望月、若林、宮崎